

気軽に安心して、出が可能に

高齢者や障がい者、要介護者など、すべての人の外出を支援する用途別タクシ―。その一例を紹介します。

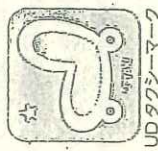
タクシ―は、電車やバスとともに地域公共交通を形成する重要な公共交通機関です。誰もが安心して利用できる移動サービスを提供するために、近年は、高齢者や障がい者の方などの外出を支援する新しいタクシ―が誕生しています。

ユニバーサルデザインタクシ―の本格的普及に向けて

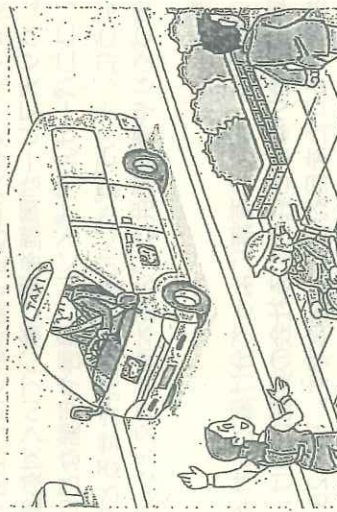
ユニバーサルデザインタクシ―は、健康な方をはじめ、足腰の弱い高齢者や車いす使用者、ベビーカー利用者、妊娠中の方、大きな荷物を持った方など、誰もが利用しやすい“みんなにやさしい新しいタクシ―”です。（下記イラスト参照）。

これまでのタクシ―と同様、街中で呼び止めて利用できます。もちろん予約もOK。運賃料金は一般のタクシ―と同じです。

2020年の「東京オリンピック・パラリンピック」開催に向けて、本格的普及を目指しています。



UDタクシ―マーク



安全・安心に外出をサポートします

タクシ―は近年、一般タクシ―のほかに、福祉タクシ―をはじめ妊婦対応や育児支援、観光タクシ―など、目的・対応別の利用も可能です。

それぞれ専門の研修を受けたタクシ―乗務員が対応し、安全・安心に外出をサポートします。

《介護タクシ―》

指定居宅サービス事業者のタクシ―では、介護保険の要介護者の方々にに対し、介護資格を保有する乗務員や同乗するヘルパーが乗降介助や身体介護サービスを提供します。



《妊婦応援タクシ―》

事前登録をした妊婦のお客様に対して、陣痛などが始まった場合に、専門の研修を受けた乗務員がかりつけの病院までお送りします。出産時だけでなく、定期検診などの際にも安心してご利用いただけます。



《育児支援タクシ―》

保護者の負担を軽減するため、保育実習などの専門研修を受けた乗務員がチャイルドシートやジュニアシートなどを備えて対応します。緊急時や夜間の対応のほか、お子様だけの送迎もできます。

《便利タクシ―》

時間の余裕がない方や外出が困難な方に、病院の予約や買い物代行、書類の受け渡しなど、必要に応じて必要なサービスを提供します。



タクシー利用者へのお手伝いのポイント

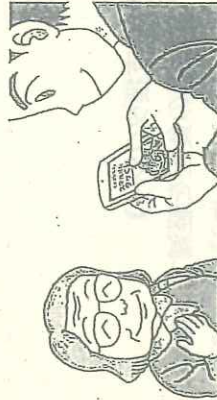
高齢者や障がい者が、街中でタクシーを止めるのに苦労していることも。そんなときは気軽に声をかけてお手伝いしましょう。

●街中でタクシーを呼び止められずにいたら、「タクシーをお探ですか」と声をかけて、タクシーを止めましょう。必要であれば、乗車時のお手伝いも。



●一般社団法人 全国ハイヤー・タクシー連合会では、パソコンやスマートフォン向けの情報検索サイト「全国タクシーガイド」を開設しています。もし、タクシーが見つからず困っている人を見かけたら、配車アプリなどでお手伝いすることが出来る地域もあります。

同サイトやアプリを使えば、全国のタクシー会社の中から、近くを走行中のタクシーを呼ぶことが出来るので、声をかけて対処しましょう。
<http://www.taxi-guide.jp/>



●駅構内で、タクシー乗り場などを探していたら、案内しましょう。もし大きな荷物があれば、トランクへの荷物入れのお手伝いも。

●白杖をついた方が、車道に身を乗り出してタクシーを止めようとしています。見ているこちらがハラハラドキドキ。ひと声かけて、代わりにタクシーを止めましょう。

●事故などで電車が全面運休し、利用客は振り替えバスやタクシー乗り場へ。それに対応できない人を見かけたら、行く先を尋ねたうえ、考えられる方法を伝えましょう。



これだけは知っておこう。バリアフリーの基礎知識

●バリアフリー (Barrier free)

障がい者が社会参加するうえで障害 (バリア) をなくす (フリー) こと。近年は道路や建築物など物理的なことだけでなく、社会的・心理的なことなど、社会参加を困難にしているすべての障壁を取り除くことを意味しています。

バリアフリーデザインの推進は 1950 年代後半から米国で始まり、1970 年代に国連が「バリアフリーデザイン」報告書を発表したことで、広くバリアフリーの言葉が普及しました。

●ユニバーサル社会 (Universal society)

年齢や性別、障害、文化などの違いにかかわらず、誰もが地域社会の一員として支え合なうなかで、安心して暮らし、一人ひとりが持てる力を発揮して元気に活動できる社会のこと。

同じ意味を持つ、「ノーマライゼーション (normalization) = 障害を持つ人が地域社会で普通に暮らせるようにすること」という言葉もあります。

●ユニバーサルデザイン (Universal Design)

できるかぎりすべての人に利用可能なように、製品や建物、空間をデザインすること。バリアフリーが障壁を取り除いていく対処療法的な意味合いがあるのに対し、ユニバーサルデザインは、障害や年齢などに関係なく多くの人が使いやすいように、そのデザインに普遍性を持たせるといふ意味が含まれます。今後のものづくりや情報提供などの基本的な考えといえます。

●障害者差別解消法

すべての国民が、障害の有無によって分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会の実現に向け、障害を理由とする差別の解消を推進することを目的とした法律です。平成 28 年 4 月に施行。

一般財団法人 全国福祉輸送サービス協会は、公共交通機関の一員として福祉タクシーの導入など積極的にバリアフリー化に取り組んでいます。

一般財団法人 全国福祉輸送サービス協会

〒102-0074 東京都千代田区九段南 4-8-13 自動車会館 4 階

TEL 03-3222-0347 FAX 03-3239-9200

ホームページ: <http://park16.wakwak.com/~zenfuku/>

発行: 2017 年 7 月